

消防署 だより

松前消防署 ☎ 984-3404

熱中症を予防して夏を乗り切ろう

暑い季節が近づき、これから注意しなくてはならないのが、熱中症です。

屋外にいらなくても、熱気のコもった室内に長時間いると、熱中症を引き起こし、命を落としかねません。

熱中症は、予防ができる病気です。熱中症に対する正しい知識と、予防対策を知り、熱中症を未然に防ぎましょう。

《こんな日は熱中症に注意》

- ・気温が高い（暑さ指数（WBGT）が28度を超える場合）
- ・湿度が高い
- ・無風状態が続く
- ・涼しい日の翌日

熱中症予防のポイント

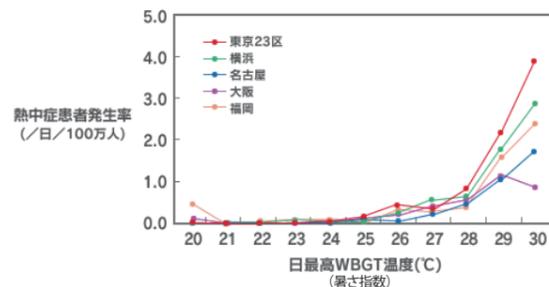
- ・気温、室温をこまめにチェック
- ・室温 28℃を超えないように、エアコンや扇風機を有効に使用
- ・外出の際は体を締め付けない、涼しい服装と帽子や日傘で日よけ対策
- ・のどが渇かなくても、こまめに水分補給
- ・無理をせず、適度な休憩
- ・日ごろから栄養バランスのとれた食事と十分な睡眠
- ・幼い子供は、短時間でも車内に放置しない

《暑さ指数とは》

湿度、輻射熱と気温を取り入れた指数です。暑さ指数が28度を超えたあたりから熱中症による死亡が増え始めます。

環境省熱中症予防情報のホームページにおいて、全国各地の現在の暑さ指数を確認することができますので、参考にしてください。

日最高暑さ指数温度と熱中症患者発生率の関係
(環境省熱中症予防情報ホームページより)



《熱中症の症状とその経過》

重症度	症状	対処	医療機関への受診
軽度	めまい、たちくらみ、大量の汗	涼しい場所へ移動、水分補給	症状が改善しなければ、受診が必要
中度	頭痛、吐き気、体のだるさ	涼しい場所へ移動、塩分・水分補給、体を冷やす	
重度	意識障害、けいれん、1人で歩けない	上記の対処に加え、ためらうことなく救急車を要請する	

松前の 防災力

危機管理係 ☎ 985-4103

松前町における 南海トラフ巨大地震被害想定を知る

vol. 08

松前町における南海トラフ巨大地震による震度・津波水位

(H25.6.10 愛媛県地震被害想定調査結果 第一次報告)

最大震度	最大津波水位 (m)	※1 津波の最短到達時間 (分)			※2 津波浸水面積 (ha)	※3 液状化危険度
		津波波高1m以上	津波波高2m以上	最大津波波高 (2.4m)		
7	4.2	113	134	185	1090 (ha)	極めて高い

※1 津波によって、海面が平常時の潮位よりそれぞれの高さまで上昇するのにかかる時間
 ※2 想定される最大の津波によって、1cm以上浸水する面積
 ※3 液状化危険度は、極めて高い>かなり高い>高い>低い>かなり低いの5段階

国の南海トラフ巨大地震による被害想定結果を踏まえ、県は6月10日、南海トラフ巨大地震を含む5タイプの地震について、市町ごとのより詳細な最大震度や津波被害などの独自想定を発表しました。

▶最大震度は7

このうち最大被害想定によると、南海トラフ巨大地震が発生した場合、松前町の最大震度は7と予想されています。他の4タイプの地震についても、おおむね平成13年に発生した芸予地震以上のものが予想されています。

▶最大津波水位は4.2m

最大津波水位は、4.2m。浸水域は、国道から西側の大部分と東側の一部(南黒田)です。詳しくは町ホームページでご確認ください。http://www.town.masaki.ehime.jp/soshiki/detail.php?lif_id=10238

▶正しく恐れることが重要

南海トラフ巨大地震は、ひとたび発生すれば甚大な被害をもたらすことを常に視野に入れておく必要があります。ただし、その発生頻度は極めて低いことから、今回の想定結果を冷静に受け止めて、正しく恐れましょう。

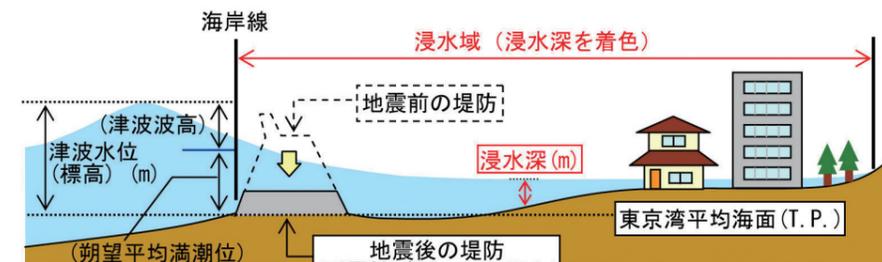
Q.4.2mの津波とは、みんなの身長以上の津波ということ?

A. はい。場所によっては身長以上となります。

松前町における最大津波水位4.2mは、大潮での満潮時の平均潮位(標高1.8m)に最大津波波高(標高2.4m)を足し合わせた高さです。仮に平均潮位(標高0.05m)のときに津波が到達した場合、津波水位は

0.05m+2.4m=2.45mとなり、松前町役場(標高およそ2.4m)での津波の浸水深は、津波水位(2.45m)ー役場の標高(2.4m)=0.05mとなります。

津波が起こった場合は気象庁が発表する津波水位に注意して、安全な場所に避難することが大切です。



※津波水位は地盤沈降量を考慮した値
 ※標高は、東京湾平均海面からの高さ